

ふくやま未来づくりビジョン
2020
【実績まとめ】

変化の激しい時代に対処するため、「3つの備え」をさらに充実させ、少子高齢化の更なる進行や、Society5.0によるデジタル社会の到来などを見据えた、新たな時代にふさわしい福山の実現に向けて取り組みました。

1 頻発する自然災害への備え

決算額：5,016,717千円

【抜本的な浸水対策】

- (国) ・ 芦田川の樹木伐採・河道内掘削（3か年緊急対策）の完了
- (県) ・ 手城川・福川などの排水機整備の着手
・ 瀬戸川・手城川の河川改修工事の着手
・ 危機管理型水位計設置の増設
- (市) ・ 東深津・珠池の雨水貯留施設整備の完了

【ため池の安全対策の強化】

- ・ ため池の耐震化・廃止
- ・ 防災重点ため池ハザードマップの作成、配布

【地域・行政の防災力強化】

- ・ 福山市総合防災訓練（全市一斉シェイクアウト訓練）の実施
- ・ 学区・地区の防災（避難）計画 全学区で作成完了
- ・ マイ・タイムラインの普及促進
- ・ 洪水ハザードマップの作成、配布
- ・ 土砂災害警戒区域等の指定について建物所有者に周知
- ・ 本庁舎BCP棟の整備 基本設計の完了



2 本格化する人口減少への備え

決算額：1,609,238千円

【人口減少対策のターゲット(ペルソナ)の満足度向上】

- ・ 子育て中の女性が働きやすい企業を中心とした女性向け合同企業説明会の開催
- ・ 京都大学などと連携したAIによるペルソナの未来予測と施策への反映
- ・ ワーケーションふくやまの推進

【福山ネウボラの進化】

- ・ 放課後児童クラブの受入対象を小学校全学年に拡充
- ・ 障がい児通園施設の利用者負担額を無償化
- ・ 子育て雑誌と連携した情報発信（公園やイベント情報）

【フレイル予防の推進】

- ・ フレイル予防推進計画の策定、フレイルチェック会の実施



【福山駅周辺の再生】

- ・エフピコR i M再生の事業候補者を選定し、基本設計に着手
- ・中央公園Park-PFIの基本協定締結、施設整備に着手



【スマートシティへのチャレンジ】

- ・福山市AI案内サービス（チャットボット）を開始
- ・中小事業者のICT導入を支援する「びんごICT相談所」の設置
- ・バス型車両による自動走行実証実験の実施

【強靱な地域経済の確立】

- ・福山北産業団地第2期事業の推進
- ・オンライン商談会と無人展示会を組み合わせた販路開拓の支援



【MICE誘致の推進】

- ・福山市MICE推進協議会の発足
- ・第20回世界バラ会議福山大会2025実施計画の策定

【外国人から選ばれる環境づくり】

- ・自動翻訳アプリ搭載のタブレット端末の整備

【歴史・文化の振興】

- ・歴史シミュレーションゲームと連携した若年層への情報発信の強化
- ・福山城の外観復元に向けたクラウドファンディングの実施
- ・福山城天守等耐震改修工事の着手



【スポーツを核とした地域活性化】

- ・JOCとの連携によるスポーツ教室の開催

【次代を担う人材育成

- （福山100NEN教育の推進）
- ・イェナプラン教育の試行実施
- ・公共・民間プールを活用した水泳授業の試行的実施



「5つの挑戦」 決算額：約122億円（「3つの備え」の決算額（約116億円）を含む。）

挑戦 1
中心市街地の活性化と都市の魅力向上

（決算額）
311,676千円

挑戦 2
希望の子育て、安心の医療・福祉とまちの活力の創出

（決算額）
1,681,421千円

挑戦 3
まちの成長をけん引する産業づくり・防災

（決算額）
6,724,050千円

挑戦 4
夢・希望あふれる未来を創る人財の育成

（決算額）
2,235,580千円

挑戦 5
文化・スポーツの振興

（決算額）
1,214,438千円

「5つの挑戦」の主な実績

挑戦 1 中心市街地の活性化と都市の魅力向上

担当課：建設局福山駅周辺再生推進部福山駅周辺再生推進課
都市部公園緑地課
経済環境局経済部産業振興課 (ほか)

中心市街地の活性化 (決算額：189,930千円)

福山駅周辺の再生に向けた機運醸成やエリア価値向上の取組により、新たな民間投資やまちづくりを志す人材・組織が生まれ、官民連携による公共空間の活用により、多様な人々にとって居心地が良く、歩いて楽しい空間への転換が始まっています。

1 ウォーカブルなまちづくりの推進

- ・オープンカフェ事業に向けた国家戦略特区の区域認定
- ・道路占用許可基準の緩和によるテラス営業

2 エフピコR i Mの再生

- ・運営事業候補者を選定し、基本設計に着手

3 中央公園Park-PFIによる施設整備

- ・基本協定を締結し、整備工事に着手

4 民間主導のにぎわいづくり

- ・まちづくり活動の推進主体として都市再生推進法人を指定
- ・リノベーションスクール受講生による取組
公共空間を活用したにぎわいの日常化に向けた事業の実施
まちで活動するプレーヤーをつなげるネットワークの設立

5 備後圏域の玄関口としての再生

- ・三之丸町地区優良建築物等整備事業の推進
旧カスパの解体工事の完了
- ・福山駅前広場の交通結節機能と都市の広場機能の検証



【福山駅周辺デザイン計画 (4つのエリアビジョンなど)】



【三之丸町地区の整備】



【公共空間を活用した
にぎわいの創出】



【国家戦略特区の認定による
道路空間の活用】



【エフピコR i Mの
イメージパース】

挑戦 1 中心市街地の活性化と都市の魅力向上

都市の魅力向上と発信（決算額：67,058千円）

担当課：市長公室情報発信課
企画財政局企画政策部企画政策課
市民局世界バラ会議推進部世界バラ会議推進室（ほか）

地域資源を生かした取組を通じて、誘客につながる新たな魅力が創出されています。また、ターゲットに応じた効果的な情報発信を進めることで、市内外で福山の魅力や取組の認知度が高まっています。

1 地域資源を生かした新たな魅力の創出

- 世界バラ会議福山大会に向けた取組
市民参加による大会の実現に向けた実施計画の策定
大会ロゴの決定（応募総数 302点）
公式ウェブサイトの構築
- ワーケーションふくやまの推進
ワーケーション協力施設の登録 16施設（利用者数 230人）
首都圏等の企業による地域活性化につながるワーケーションの取組件数 4件
- 福山ブランドデザインアワード初開催
応募総数 170件
2021年度 受賞作品の商品化を予定

2 多様な媒体を活用した情報発信

- 福山市公式LINEアカウントによる情報発信
友だち数 67,331人（中核市1位）
- SNS広告の実施
リーチ数 933,460人
エンゲージメント数 87,439リアクション
- 福山アンバサダーによる情報発信
総登録者数 905人
総フォロワー数 220万人



【ワーケーションふくやま】

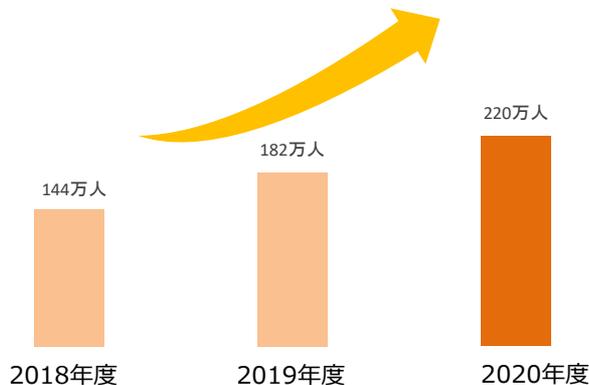


第20回
世界バラ会議
福山大会
2025
WFRS 20th
WORLD ROSE CONVENTION
2025 in FUKUYAMA



【大会ロゴ】

【デザインアワード最優秀賞】



【福山アンバサダーの総フォロワー数】

戦略的な観光振興（決算額：54,688千円）

ポストコロナを見据え、「安心」「安全」をキーワードに、観光コンテンツを磨き上げ、観光客の受入環境の整備を進めるとともに、コロナ収束後の誘客に向けて取り組んでいます。

1 国内観光プロモーションの推進

- ・福山の食（つまみ）を活かしたプロモーション
福つまみ総選挙をオンラインで開催
市内飲食店協力店舗数 53店舗
福つまみ専用ホームページの開設 20,599PV
福つまみPR動画の制作 再生数 42,122回
- ・観光PR看板の刷新（JR福山駅新幹線ホーム下り線）

2 鞆の浦しおまち海道サイクリングロードの環境整備

- ・福山市自転車組立場の整備（福山駅）
福山市駅南地下送迎場内に更衣室、メンテナンス工具、コインロッカー等を備えた自転車組立場を整備
- ・スポーツサイクル用スタンドの設置（鞆の浦）

3 びんご圏域の「食」をテーマにした マイクロツーリズム

- ・テイクアウトグルメ開発に向けた参画店舗の募集
対象商品 コッペパン、ソフトクリーム
商品開発参画店舗 計38店舗

4 観光客受入環境の整備

- ・観光地トイレの洋式化 新設 1か所 道越公衆便所（鞆の浦）
改修 1か所 小垣公衆便所（鞆の浦）
- ・無料公衆無線LAN設置施設の拡大
ばら公園に追加（設置期間：4月～11月）



【福つまみ】



【JR福山駅観光PR看板】



【福山市自転車組立場】

福山ネウボラが支える希望の子育て（決算額：1,408,080千円）

妊娠期から子育て期まで切れ目なく支援する体制を強化するとともに、多様な子育てニーズへの対応や支援が必要な家庭へのサポートの更なる充実により、誰もが安心して希望の子育てができる環境を構築しています。

1 子育て支援の充実・少子化対策

- ・ネウボラ相談窓口「あのね」の充実 相談件数 19,666件
- ・養育支援訪問事業の拡充
ヘルパー派遣による育児・家事援助の実施
- ・ファミリー・サポート・センター事業実施 活動件数 2,379件
- ・子育てパパ活躍ウィークの実施
休暇取得・早めの退社などの促進 参加者数 約850人
親子で参加できるイベントの実施 参加者数 約1,100人
- ・放課後児童クラブの拡充
全クラブで、全学年を対象にした受入れを開始
- ・子育て雑誌と連携した情報発信（公園やイベント情報）

2 安心の医療と早期療育支援

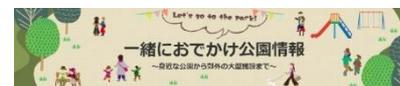
- ・障がい児通園施設の利用者負担額を無償化
- ・こども発達支援センターの運営 利用者数 2,057人
- ・病児・病後児保育の実施 利用者数 641人

3 貧困の連鎖の防止

- ・子どもの居場所を兼ねた学習支援の拡充
ひとり親家庭の中学生の定員50人⇒140人
- ・ひとり親家庭の自立支援 給付件数 63件



【「あのね」での相談】



びんまると協力して作っています！
ひんまる × 福山市
中国電力企画株式会社と福山市は子育ての経済連携協定を結んでいます。



（検索イメージ(富谷ドームランド)）

【福山市公園情報の検索】

「健康長寿社会 福山」の実現（決算額：240,061千円）

担当課：保健福祉局保健部健康推進課
長寿社会応援部高齢者支援課（ほか）

フレイルサポーターを中心としたフレイルチェック体制を整え、健康状態を見える化し、効果的な健康づくりへつなげるとともに、認知症の方や家族を地域で支える取組により、健康でいきいきと安心して暮らせるまちづくりを進めています。

1 フレイル予防の推進

- ・福山市フレイル予防推進計画2020の策定
- ・フレイル予防の啓発
出前講座 93回、参加者 1,550人
Web講演会 3,808人
- ・フレイルサポーターの養成講座 参加者数 48人
- ・フレイルチェック会の実施 市内6会場 参加者数 150人
- ・いきいき百歳体操の実施か所の拡大
新規実施か所数 11か所（累計 146か所）
参加者数 74,113人
- ・食と運動の健康づくりボランティアの育成
スキルアップにつながる研修会 参加者数 1,597人
- ・料理教室や運動教室などの地域活動の実施
参加者数 10,457人

2 疾病の早期発見・重症化予防

- ・（株）ププレひまわり、中国労働衛生協会との健康増進に関する連携協定の締結
- ・糖尿病性腎症重症化予防保健指導プログラムの実施
終了者数 28人

3 地域で安心して暮らすための認知症施策の充実

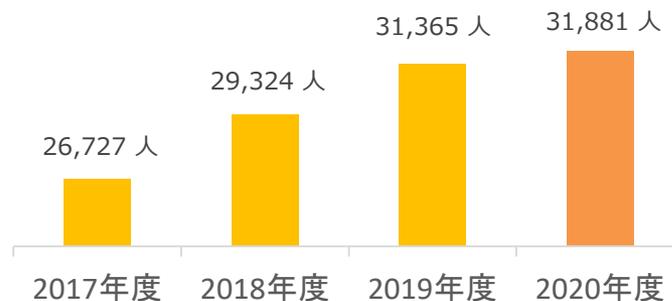
- ・認知症カフェの開設 開設数 22か所、利用者数 1,233人
- ・認知症サポーター養成講座の実施
新規養成者数 516人（累計 31,881人）



【フレイル予防推進計画及び啓発リーフレット】



【フレイルチェック会の様子】



【認知症サポーター養成講座受講者数（累計）】

若者や女性が輝く都市づくり（決算額：16,644千円）

子育て専業主婦（夫）や就活大学生を中心としたペルソナの満足度向上のため、子育て中の女性が働きやすい企業の情報発信や若者と地元企業のマッチングなどに取り組んでいます。

1 働き方改革の推進

- ・ふくやまワーク・ライフ・バランス認定
新規認定事業者数 20事業者
- ・子育て中の女性が働きやすい企業を中心とした女性向け
合同企業説明会の開催
参加企業数 14社、参加者数 34人
- ・男女共同参画推進事業者の表彰
表彰企業数 1事業者
- ・女性の働く環境改善（改修工事費用補助など） 8件

2 地元就職の促進

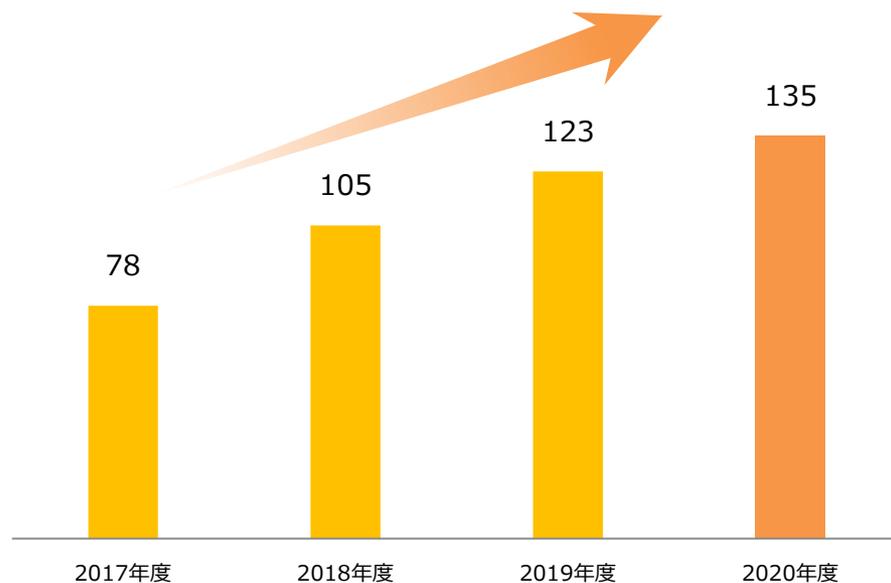
- ・市外大学に通う学生と備後圏域企業のオンライン交流会
の開催
参加企業数 35社、参加学生数 74人
- ・市外大学への通学費支援 30件
- ・市内企業への就職応援事業（交通費補助） 8件
- ・広島県ナースセンター・サテライト福山による看護職員の
復職支援（県事業）
再就職者数 184人（うち福山市 127人）
- ・就活サイトを活用した社長から就活生に向けた
応援メッセージの発信（社長の声プロジェクト）
掲載企業数 6社



【女性向け合同企業説明会】



【男女共同参画推進事業者表彰】



【ふくやまワーク・ライフ・バランス認定総事業者数】

障がい者の社会参加支援（決算額：16,636千円）

障がいのある人への理解を進めるとともに、働く場を増やす取組や安心して働き続けられる環境の整備など、地域で自立した生活が送れるように支援を行うことで、障がいのある人の社会参加につながっています。

1 障がい者雇用の推進

- 障がい者雇用促進セミナーの開催
参加数 19事業所、28人
- 障がい者雇用奨励金の交付
交付件数 45件

2 障がい者が働きやすい環境の充実

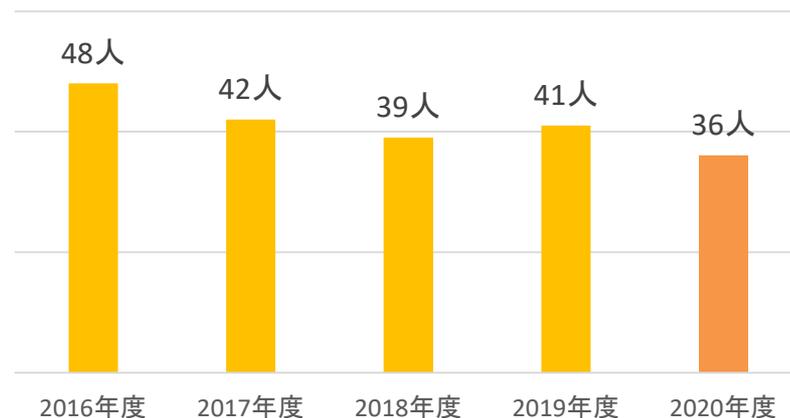
- 事業所に対する巡回指導・相談
障がい福祉サービス指導員の巡回による生産活動と就労支援活動についての助言・指導
実施数 27事業所
- 専門家による経営改善の指導
中小企業診断士などの専門家による経営内容や個別処遇に踏み込んだ審査・調査の実施
実施数 23事業所
- 農福連携の推進
JA福山市と締結した「食と農の交流館の設置に係る協定書」に基づく就労系事業所に対する現地での栽培技術研修の実施
実施回数 7回、参加事業所数 2事業所



【障がい者雇用促進セミナー】



【栽培技術研修】



【福祉施設から一般就労への移行人数】

地域経済の活性化（決算額：1,700,447千円）

先端技術による都市づくり元年として、企業におけるICTの導入促進に取り組むとともに、中小企業の経営支援やものづくり人材の育成、企業誘致の推進など、強靱な地域経済の確立に向けた取組を進めています。

1 地域経済の核となる地元企業への支援

- ・福山ビジネスサポートセンターFuku-Bizによる相談・創業支援
相談件数 2,963件、売上向上率 87.3%、創業件数 18件
- ・備中備後ジャパンデニムプロジェクト
オンライン展示会と無人型商談会を組み合わせた
販路開拓支援
（備後圏域と高梁川流域による合同開催）
参加企業数 22社（福山市内参加企業数 8社）
アクセス件数 1,659件、参加者数 86人
- ・ものづくり大学による人材の育成
最先端技術などの学びなおし・スキルアップ 受講者 81人
- ・高度人材の活用支援
兼業・副業セミナーの開催 参加企業 14社

2 スマートシティへのチャレンジ

- ・びんごデジタルラボの試行実施
ものづくりへのVR活用について企業・大学等が議論に参加
参加者数 約100人
- ・中小事業者のICT導入を支援する「びんごICT相談所」の設置
相談件数 22件
- ・子どもが先端技術に触れる「キッズラボ」の開催
参加者数 約500人（子ども 約200人、保護者 約300人）
- ・バス型車両による自動走行実証実験の実施
まなびの館ローズコムとエフピコアリーナふくやま間を走行

3 企業誘致の推進

- ・福山北産業団地第2期事業の推進
用地買収、企業訪問



【オンライン展示会HP】



【無人型商談会】



【ICT化相談所HP】



【兼業・副業セミナー】



【キッズラボ】



【自動走行実証実験】

農林水産業の活性化（決算額：6,886千円）

担当課：経済環境局経済部農林水産課
農業振興課

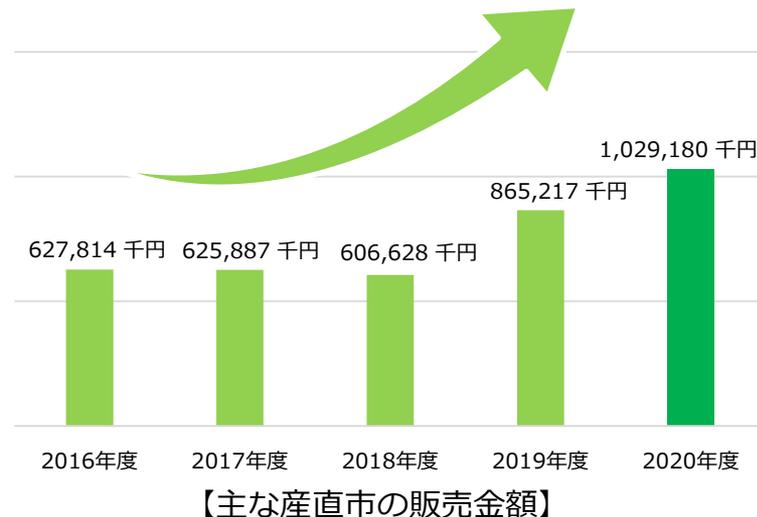
生産性が高く持続可能な農林水産業の確立に向けて、民間事業者や関係団体などと連携し、水産物のブランド化や6次産業化を推進するとともに、積極的な販路拡大に取り組むことで、農林水産物の売上や魅力の向上につながっています。

1 水産物ブランド化の推進

- ・「備後フィッシュの食べられる店」第3回認定
認定店舗数 14店舗（累計認定店舗数 86店舗）
- ・「漁師めし食堂」を開催
（備後フィッシュフェスの代替イベント）
参加者数 55人
- ・産直市等での販売促進
FUKUYAMAふくふく市や道の駅アリストめままでのPR

2 6次産業化の推進

- ・びんご6次産業化アドバイザーの派遣
派遣回数 9回（5事業者に販路拡大などの助言）
- ・備後圏域ワインプロジェクト
備後・ふくやまワインオーナーズクラブ
参加者数 37人（山野 16人、世羅 15人、オンライン 6人）
BINGOワイン・リキュールアカデミーの開催
参加者数 15人（オンライン 11人）



【漁師めし食堂】



【ワインオーナーズクラブ】



【FUKUYAMAふくふく市】

防災対策の推進 (決算額：5,016,717千円)

防災リーダーや自主防災組織と連携した地域防災力の強化や、抜本的な浸水対策を始めとする災害に屈しないインフラ整備など、ソフト・ハード両面での対策に取り組み、頻発する自然災害への備えを強化しています。

1 地域・行政の防災力強化 (ソフト対策)

- ・福山市総合防災訓練 (全市一斉シェイクアウト訓練) の実施
- ・防災リーダーによる出前講座の実施
- ・学区・地区の防災 (避難) 計画作成支援
全80学区で作成完了
- ・マイ・タイムラインの普及促進
- ・災害ハザードマップなどの作成、周知
洪水ハザードマップの作成、配布
土砂災害警戒区域等の指定について建物所有者に周知
防災重点ため池ハザードマップの作成、配布
- ・災害対策本部の連携体制の強化
IP無線機の追加配備 43台 (累計 191台)
- ・本庁舎防災機能の強化
本庁舎施設整備の基本設計完了

2 災害に強いまちづくり (ハード対策)

- ・抜本的な浸水対策の実施

| | |
|-------------|------|
| 土砂撤去など | 12か所 |
| 排水機、河川、水路整備 | 43か所 |
| 雨水貯留施設整備 | 4か所 |
| 内水排除対策検討 | 1か所 |
- ・ため池の安全対策の強化

| | | | |
|--------|-----|----|-----|
| 耐震化 完了 | 2か所 | 着手 | 2か所 |
| 廃止 完了 | 1か所 | 着手 | 2か所 |
- ・学校施設の耐震化
耐震化率 95.2% (2019年度) →96.3% (2020年度)
小学校 2校、中学校 2校



【各地域での出前講座】



【雨水貯留施設 (東深津町)】



【学校施設の耐震化 (改築) (東小学校・神辺中学校)】

未来を創造する教育（決算額：2,216,804千円）

子ども一人一人の個性や発達段階に応じた子ども主体の学びづくりに取り組むとともに、大学や企業と連携する中で、新たな時代に必要となる知識・スキルの習得のための教育環境を整備するなど、子どもたちの未来を支える取組が進んでいます。

1 福山100NEN教育の推進

- ・「学力の伸びを把握する調査」事業
学力向上アドバイザーを招いた調査結果の活用に関する研修を全校で実施
- ・「学びを拓く学校図書館」充実プラン 新たに24校を整備
- ・市立図書館での電子図書貸出サービスの試行導入

2 学校教育環境の整備

- ・ICT教育機器の整備
中学校33校の普通教室・特別教室へ電子黒板を整備
- ・全市立中学校での完全給食の実施
- ・公共・民間プールを活用した水泳授業の試行実施
- ・「広瀬学園」（特認校）設置に向けた準備 基本設計に着手
- ・「想青学園」（義務教育学校）の整備 敷地造成・建築工事に着手
- ・GIGAスクール構想に基づく校内通信ネットワークの整備 96校

3 産学官連携による新時代への対応

- ・京都大学と連携したAIによる未来予測と施策への反映
- ・市立大学での民間企業と連携した特別講座の開催
ICTなどによる地域課題の解決策の創造・提案 全6回



【ICT教育機器を活用した授業】



【学校図書館（整備後）】



【想青学園の整備】

未来づくりへのチャレンジ（決算額：18,776千円）

自治会組織を始めとする若者や事業者等の多様な主体が参画する新たな地域づくりの推進や、次代を担う子どもたちに対する「夢への挑戦の場」の提供、多文化との共生に向けた取組などにより、新たな福山の未来づくりが始まっています。

1 未来の地域づくりに向けた協働

- ・有識者会議の提案書に基づく実証事業の実施
持続可能な地域コミュニティ形成モデル事業 2学区
地域づくり塾 開催 6回、参加者数 36人
- ・福山市地域コミュニティ推進懇談会の開催
地域活動の負担軽減やデジタル化等について議論
開催2回 委員15人
- ・未来づくりミーティング「福山未来共創塾」の開催
福山の未来図の実現に向けたプロジェクトの創出 8件
- ・学校再編後の地域づくり
地域活性化に向けた講演会・ワークショップの開催
（東村地域、能登原・内海・内浦学区）
地域・行政が連携した協議会の開催（服部地域）

2 子どものチャレンジの応援

- ・子ども議会・高校生会議の開催 参加児童・生徒数 18人
- ・中学生の夢へのチャレンジを応援する「夢・未来プロジェクト」
応募件数 634件、夢の実現に向けた支援 5件

3 多文化共生の推進

- ・外国人休日相談窓口の開設
相談者数 14件
- ・タブレット端末による外国人相談窓口の多言語化
自動翻訳アプリ（31か国）搭載のタブレット端末の整備 5台
- ・日本語教室の開催
開催 10回、参加者 12人
ボランティア養成講座（オンライン） 10人



【地域づくり塾】



【地域コミュニティ推進懇談会】



【高校生会議】

歴史・文化・芸術の薫る都市づくり（決算額：663,156千円）

福山城の保存整備や若年層にターゲットを絞った情報発信により、2022年の福山城築城400年への機運が高まっています。また、文化財の保存や整備の取組により、歴史文化資源の価値を再認識し、磨き上げを図っています。

1 福山城築城400年に向けた取組

- ・若年層への情報発信の強化
歴史シミュレーションゲームとの連携
- ・外観復元に向けたクラウドファンディングの実施
寄附額 63,741千円
- ・福山城夜間景観照明の整備
ライトアップ（伏見櫓、湯殿、月見櫓、狭間）
整備工事（天守、美術館プロムナード）
- ・福山城の保存整備
福山城天守等耐震改修、本丸土堀改修工事、
福山城博物館展示リニューアルの着手 など
- ・阿部家企画展の開催
「雲の伯爵 富士山と向き合う阿部正直」来場者数 442人



2 歴史文化資源の価値向上・芸術文化活動の充実

- ・廉塾の保存整備 発掘調査・建物保存修理
- ・神辺本陣の保存整備 文献調査
- ・第13回 島田荘司選
ばらのまち福山ミステリー文学新人賞
応募作品数 70点



【廉塾の保存整備】



【福山城築城400年記念事業】



【福山城天守等耐震改修】

鞆のまちづくり（決算額：330,095千円）

鞆まちづくりビジョンの実現に向け、大切に受け継がれてきた町並みの歴史・文化的価値を国内外に発信するとともに、暮らしと観光の安全性・利便性の向上に取り組むことで、鞆のまちの魅力が更に高まっています。

1 歴史・文化の継承

- ・重要伝統的建造物群保存地区内の修理・修景などに対する補助 12件
- ・鞆まちなみ保存会の活動支援
- ・寄附を通じて鞆のまちづくりを応援する「鞆・一口町方衆」応援プロジェクト（県事業）
支援金額 約1,500万円、支援者数 156人
支援企業・団体数 59企業・団体（累計）

2 にぎわいの創出

- ・日本遺産鞆の浦の魅力発信
日本遺産に登録されたストーリーや、そこに暮らす人々の日常を発信するメディア「VISIT鞆の浦」 閲覧数 109,242回
鞆の浦しお待ちガイドによる観光案内 7,363人
- ・ユネスコ「世界の記憶」福禅寺対潮楼朝鮮通信使関係資料の修復
- ・地元住民と観光客が集う「（仮称）鞆町町並み保存拠点施設」の整備着手

3 安心・安全の確保と利便性の向上

- ・地元住民や観光客の移動を支える公共交通としてのグリスロモビリティの運行
グリスロ潮待ちタクシー 利用者数 975人
グリスロバス 利用者数 1,771人
グリスロバス・潮待ちタクシーなどによる移動と観光資源を連携させた観光型MaaS※の実証実験を実施



【（仮称）鞆町町並み保存拠点施設】



【グリスロバス】

※Mobility as a Serviceの略。出発地から目的地までの移動ニーズに対して最適な移動手段を切れ目なく提供するなど、移動を単なる手段としてではなく、利用者にとっての一元的なサービスとして捉える概念のこと。

スポーツを核とした地域活性化（決算額：221,187千円）

備後圏域の拠点となるスポーツ施設の整備や様々なスポーツに触れる機会の創出、オリンピックに関連したイベント等の開催により、市民がスポーツに身近に親しむことができるまちづくりが進んでいます。

1 スポーツに親しむ機会の創出

- ・各種スポーツの公式戦等の誘致
誘致数 11大会
- ・ふくやまスポーツアカデミーの開催
参加者数 22人

2 オリンピックによるスポーツ機運の醸成

- ・JOCとの連携によるオリンピック教室
開催 3校、参加者数 177人
- ・東京2020オリンピック聖火展示
来場者数 901人

3 スポーツ施設の拠点機能の強化

- ・竹ヶ端運動公園水泳場の解体工事の完了
- ・竹ヶ端運動公園庭球場の基本計画の策定



【東京2020オリンピック聖火展示】



【ふくやまスポーツアカデミー】



【オリンピック教室】



【卓球日本リーグプレーオフ
JTTLファイナル4】

5つの挑戦の軌跡

ふくやま
未来づくり
ビジョン
2020

- 遺芳丘小学校・駅家北小学校が開校
- 中央公園Park-PFIコンソーシアムと基本協定を締結
- 鞆町 町並み保存拠点施設の整備工事の着手
- 芦田川かわまち広場（親水広場）の3エリアでネーミングライツパートナーが決定
- 世界バラ会議福山大会実行委員会の発足
- (仮称)千年小中一貫教育校開校準備委員会の発足
- 伏見橋・湯殿・月見橋・狭間のライトアップの開始
- 福山城の外観復元に向けたクラウドファンディングの開始
- 電子図書貸出サービスの試行導入
- 史跡二子塚古墳の整備が完了
- 手城川流域の新たな対策として雨水貯留施設が完成
- 広島県行政書士会と「多文化共生社会の推進に関する連携協定」を締結
- 全市立中学校で完全給食の実施
- 公共・民間プールを活用した水泳授業の試行実施
- (株)ププレひまわりと「健康増進に関する連携協定」を締結
- 福山青年会議所、広島トヨタ自動車(株)ほか関連6社と「災害時応援協定」を締結
- フレイルサポーターの募集を開始
- 次期ごみ処理施設の整備・運営事業契約を締結



【駅家北小学校の開校式】



【次期ごみ処理施設完成イメージ図】

- 中央公園Park-PFI整備工事の着手
- 令和の大普請 福山城の保存整備の開始
- 福山災害ボランティア連携協働会議を発足
- 福山市AI案内サービス（チャットボット）の開始
- 10月 ○地域活性化会議の開催
- ↓ ○先端技術体験イベント「キッズラボ」の開催
- 12月 ○福山市総合防災訓練（全市一斉のシェイクアウト訓練）の実施
- 福山市MICE推進協議会の発足
- 国家戦略特別区域における特定事業の認定（エリアマネジメントに係る道路法の特例）
- （仮称）子ども未来館第1回プロジェクト会議の開催
- 福山市市政モニターの委嘱、第1回アンケートの実施
- 都市再生推進法人に（株）築切家守舎を指定
- びんごデジタルラボの試行実施
- （公財）中国労働衛生協会と「健康増進に関する連携協定」を締結
- 世界バラ会議福山大会ロゴマークの決定
- 1月 ○中小企業向けICT相談窓口（びんごICT相談所）の開設
- ↓ ○エフピコRiMの事業候補者として「福山電業（株）」を選定
- 3月 ○バス型車両による自動走行実証実験の実施
- JR福山駅新幹線上り線ホームにビュースポットの設置
- 福山ブランドデザインアワード2020の開催
- 第20回世界バラ会議福山大会2025実施計画の策定
- 福山みらい創造ビジョンの策定



【福山城の保存整備】



【キッズラボ】



【福山みらい創造ビジョン】

参考(連携中枢都市圏構想)

連携中枢都市圏構想（決算額：1,223,887千円）

備後圏域の中核都市として、6市2町の連携を強化し、新型コロナウイルス感染症対策や4つの重点プロジェクトを中心に、圏域の一体的な発展に取り組んでいます。

1 びんごイノベーションエコシステム形成支援プロジェクト

- ・産業支援拠点「福山ビジネスサポートセンターFuku-Biz」の運営
相談件数 2,963件（うちオンライン相談件数 404件）
- ・金融機関、大学、商工会議所と連携した地域商社機能の研究
- ・びんごデジタルラボの試行実施
ものづくりへのVRの活用をテーマにオンライン×リアルで開催
参加人数 約100人
- ・次世代ビジネスリーダーの養成
県立広島大学による講座 参加人数 18人

2 広域観光・交流プロジェクト

- ・サイクリングの環境整備
福山市駅南地下送迎場内に自転車組立場を整備
- ・備後圏域プロモーション事業
びんごライフウェブサイトの運営 44,037PV
- ・びんごリトリートの情報発信強化（マイクロツーリズムの推進）
地元情報誌への特集記事の掲載
リトリートウェブサイトの充実 15,789PV

3 医療連携強化プロジェクト

- ・医療版ワーケーションの試行実施
医師、看護職員の参加人数 7人
- ・公立医療機関の連携促進
新型コロナウイルス感染防止対策合同研修会の実施 参加者数 36人

4 行政サービス効率化プロジェクト

- ・圏域住民が利用可能な電子図書貸出サービスの試行導入
- ・AIやRPAの導入プロセスなどに関する情報共有
- ・自治体への申請等の様式統一化に向けた検討の開始



【びんごデジタルラボ】



【びんごリトリート】

参考(新型コロナウイルス感染症対策)

1 感染拡大防止策の強化・医療提供体制の確保

(決算額：2,325,883千円)

担当課：保健福祉局福祉部福祉総務課
保健部総務課
教育委員会管理部教育総務課
市民病院経営企画部管理課 (ほか)

感染拡大防止のため、基本的な感染症対策の徹底に必要な衛生用品の配布や、必要な検査が確実に受けられる体制の確保とともに、医療現場のひっ迫の回避のため、機器等の整備や病床の確保に取り組みました。

① 感染拡大防止策の強化

- 衛生用品（マスク、ガウン、消毒液など）の購入・配布
社会福祉施設、医療機関、避難所、幼稚園、
小学校、中学校 など
- テレワークの受入れ宿泊施設に対する衛生管理費補助 独自
11件
- 小中学校等への学習用端末の整備
児童・生徒・教員用 20,368台
- 福山版対策ガイドライン（家庭編・職場編）の策定 独自
職場編eラーニング修了証発行件数 4,367件
- 貸切バス事業者に対する感染防止対策費補助 独自
16件

② 検査体制の充実

- 保健所の検査体制の強化
PCR検査機器等の整備 検査数 6,263件
- 外部委託等による検査体制の確保 検査数 17,060件
- 患者の移送体制の充実
移送車両の導入 2台、移送委託数 81件

③ 医療提供体制の確保

- 市民病院の機能強化・診療体制強化 独自
人工呼吸器、ECMO、PCR検査機器などを整備
- 入院加療が必要な患者の受入れ後方医療機関に対する補助 4件



【1人1台の学習用端末】



【ECMO（体外式膜型人工肺）】

2 市民への生活支援と 新たな日常への対応支援

(決算額：49,190,206千円)

担当課：市民局市民部市民生活課
保健福祉局ネウボラ推進部
ネウボラ推進課 ほか

きめ細かな支援により、市民の生活の不安や負担を軽減するとともに、国の支援策を迅速かつ確実に市民に届けました。また、新しい生活様式を取り入れた暮らしの確立に向けた支援を行いました。

① 市民への支援

- ・市民：特別定額給付金の支給 466,933人
- ・学生：「ふるさと福山学生応援パック」の実施など 3,450件 独自
- ・障がい者：緊急応援金の支給 1,913件 独自
- ・高齢者：介護用品券の配布 2,721件 独自
- ・子育て世帯：子育て世帯臨時特別給付金の支給 36,734件
出生児特別定額給付金の支給 2,890人 独自
ひとり親世帯臨時特別給付金の支給 4,668件
ひとり親家庭緊急応援金の支給 4,224件 独自
- ・生活困窮者：住居確保給付金の支給 175件
- ・外国人：生活相談 618件

② 新たな日常への対応

- ・「新しい生活様式」提案のための実証実験
サーモカメラによる3密対策など 3件 独自
- ・行政サービスのデジタル化 独自
スマートフォン決済用端末の整備 7台
公民館等へのWi-Fiスポットの整備 83拠点
- ・市立大学におけるオンライン授業の更なる強化 独自
約50%の授業をオンライン化



【ふるさと福山学生応援パック】



【スマートフォン決済用端末】

3 中小事業者への 事業継続支援

(決算額：1,272,164千円)

担当課：経済環境局経済部産業振興課
建設局都市部都市交通課
企画財政局企画政策部企画政策課 (ほか)

厳しい経営環境にある中小事業者の事業の継続や雇用の維持を支援するため、新たな給付金等の制度を創設しました。また、社会変化を踏まえ、IoT導入の補助など新しい生活様式を取り入れた事業活動を後押ししました。

① 事業継続の支援

- ・休業要請に応じた事業者への協力支援金の支給
3,080件
- ・飲食事業者に対する感染症対策費補助 557件
- ・飲食事業者に対する支援金の支給 1,047件
- ・タクシー・貸切バス事業者に対する奨励金の支給 独自
タクシー 86件、貸切バス 17件
- ・テイクアウト・デリバリー事業への参入の促進 独自
事業参入に対する店舗改修費等補助 111件
代行サービス手数料補助 5件
- ・企業に対するWeb面接・Web説明会の開催費補助 独自
39社

② 感染防止対策や経営基盤の強化支援

- ・感染防止対策や事業基盤の強化に取り組む事業者の支援 独自
IoTの導入や工作機械の更新等に係る費用補助 220件
事業のオンライン化にかかる費用補助 160件
感染症対策設備の導入費用補助 2,015件
- ・宿泊施設を活用したテレワークの利用促進 独自
登録宿泊施設 22件、利用回数 973回

③ 芸術文化活動の継続支援

- ・アーティスト（演奏家）の活動支援 独自
演奏動画をYouTubeで配信 38動画、13,533回再生



【宿泊施設を活用したテレワークの利用促進】



【アーティストの活動支援】

4 市民への消費喚起 (決算額：835,069千円)

地域内で経済を循環させ、地域経済の回復の足掛かりとするため、観光や飲食、バス・タクシーなどの関連産業と連携し、キャンペーンの実施など市民等の消費を喚起しました。

① キャッシュレス決済を活用した消費喚起

- 消費喚起キャンペーン (第1弾) 独自
飲食店を対象としたキャンペーンを実施
- 消費喚起キャンペーン (第2弾) 独自
飲食・タクシー・小売・サービスを対象としたキャンペーンを実施

53.4億円
消費喚起!

② ECサイトを活用した消費喚起

- Web物産展の開催 独自
国内最大級のインターネットショッピングサイトと連携した割引クーポンの発行

1.5億円
消費喚起!

③ 観光の促進

- 観光応援キャンペーン 独自
宿泊、土産、交通等に利用可能なクーポンの発行
- 備後圏域内の女性をターゲットに癒しスポットやおすすめコース (びんごりトリート) を配信 独自
HP、SNS、リーフレット、地元誌による情報発信



【消費喚起キャンペーン】



【地場製品のプロモーション】



【観光応援キャンペーン】